令和８年度 第１回社会教育委員の会 議事要点録

１　日　時 令和８年８月６ 日（木）14：00～15：00
２　場　所 鈴鹿市役所本館 12 階　1201 会議室
３　出席委員　大西　依子　市川　善浩　池田　憲彦　岩﨑　翔太　坂　友美　樋口　よしゑ
　　采睪　真澄（以上７名）
４　事務局等　文化スポーツ部長　宮﨑　公浩
　　文化スポーツ部文化振興課長　岡村　智子
　　文化スポーツ部文化財課長　山中　尚美
　　文化スポーツ部図書館長　平田　千尋
　　地域振興部地域協働課長　松本　喜芳
　　文化振興課生涯学習 GL　漆原　里美
　　文化振興課生涯学習 G　徳田　健介（以上７名）
５ 傍聴人　　０人
６ 会議概要　以下のとおり
（１）あいさつ
　文化スポーツ部長よりあいさつ
（２）自己紹介
　社会教育委員、市側出席者
（３）座長選出
　樋口委員を座長に選出
（４）協議事項
　令和８年度　社会教育分野の主要事業について　各課（館）長より説明

【質疑応答】
（池田委員）
　図書館について 3 点教えてください。1 点目は、施設の建替えについてです。以前も話が出ていましたが現状どのようになっているのか教えてください。2 点目に、図書館の空調についてです。図書館に行くといつも暑いように感じますが、故障しているのか、それともそれくらいの温度設定としているのか、教えてください。3 点目に、指標にある図書貸出カード登録者の割合の算出方法についてです。登録者のうち、亡くなった方や転出した方はどのように取り扱っているのですか。
（図書館長）
　1 点目の施設の建替えについてですが、市が所有する公共建築物は、鈴鹿市公共建築物個別施設計画に各施設の方向性等がとりまとめられています。最新で、令和 6 年 4 月に改定版が公表されており、その中で、図書館は令和９年度までの間に、全体の機能・サービス等の在り方について整理を行い、文化会館との相乗効果や周辺の施設との集約化・複合化を含めて検討し、再整備の基本構想を作成する。となっています。現時点で、明確に建て替え等についてお伝えできるところまでは至っておりませんが、時代の波とともに変化していく図書館の今後の方向性及びニーズを見極め、進めてまいります。

2点目の空調については、今回の資料7ページを御覧いただきたいのですが、維持修繕費に3,872万円分の予算を計上しております。昨年度と比べて大きく増加していますが、内容は、今年度、空調設備の一部機器を交換するための経費となっています。御指摘いただきましたように、1階の設備が非常に古いこともあり、なかなか心地よい空間になってない日がございます。

3点目の貸出カード登録者の割合の算出方法については、鈴鹿市民の全体数とカード所持者数をもって算出しています。なお、住民基本台帳と貸出カードはリンクをしていませんので、お亡くなりになっても、図書館の貸出カード所持者としてはしばらく有効の状態となっています。そこで、カードの利用が5年間ない方は、お亡くなりになられたか、又は転出された可能性が高いという判断から、登録を削除する運用としております。

（采睪委員）

地域家庭教育支援事業費の放課後子ども教室・土曜体験学習についてお聞きします。現在、放課後子ども教室が5小学校区、土曜体験学習は1小学校区で実施していますが、この5つの小学校区の選別は何か基準があるのでしょうか。また、今後は増えていく見通しがあるのでしょうか。

（文化振興課長）

放課後子ども教室の成り立ちは、もともと市内の一部の公民館でこどもを集めて活動をしていたところに、国が当該事業を始めることとなったので、既に活動があった既存地区に、教室を立ち上げませんかと市から依頼をした地区が多いと聞いています。増やしていくと大変良い事業と考えていますが、開催場所や、サポーター、コーディネーターといった人材の課題等があり、増えていないというのが現状です。

（采睪委員）

こういうものがどんどん増えると良いと思います。

（文化振興課長）

以前は、実行計画の中に教室数の数値目標がありました。当時、何年間かかけて教室を増やそうと地域に呼びかけを行っていましたが、なかなか放課後子ども教室の開設までは至りませんでした。

（大西委員）

井田川小学校区はとても活発にしていただいており、こどもたちは本当に楽しみにしています。私も行ける時には行かせてもらっていますが、毎回、こどもたちのために丁寧に準備いただき、自宅や学校では実施することが難しい体験を考えてくださっています。川遊びや火起こし、災害に備える経験もさせたいなど、いろいろな目的を持ってこどもたちを育ててくださっていて、非常にありがたいです。

（采睪委員）

井田川小学校区は地域の方が運営しているようですが、他の地区も地域の有志の方なのでしょうか。

（文化振興課長）

はい。放課後子ども教室の運営は、公民館の運営委員会に委託しています。各地区にコーディネーターが1～2名おり、年間の計画を立てています。当日はサポーターも参加し、運営を補助しています。

（坂委員）

地域から発信されて事業が広がるのではなく、文化振興課から発信するのでしょうか。

（文化振興課長）

はい。事業を広げる発信というのは文化振興課から行います。

（坂委員）
ここに上がってない小学校区は手を挙げていないということでしょうか。
（文化振興課長）
開設の相談をいただいた小学校区もありますが、先ほど申し上げました課題等により実施に至らなかったというケースもあります。
（釆睪委員）
例えば、三重大の教育学部学生、高田短期大学の学生、鈴鹿大学の学生など、教員の養成をしている学校の学生力が借りられると思います。
（文化振興課長）
郡山の教室は鈴鹿大学の学生に来ていただいていることもあります。
（市川委員）
神戸中学校の近くには考古博物館がありますが、教員の研修で、先日、考古博物館でお世話になったそうです。参加した教員が職員室内で面白かったと宣伝していました。中学生ぐらいの方にも、宣伝していきたいなと思います。
（岩﨑委員）
私も、夏休みにこどもと考古博物館へ行き、勾玉づくりをさせてもらいました。こどもも楽しんでいましたので、続けて欲しいなと思います。鈴鹿市 PTA 連合会のインスタグラムでも写真等の情報提供をさせてもらえるのなら、また後で相談させていただければと思います。
（文化財課長）
夏休みやシルバーウィーク、ゴールデンウィークの長期休暇の間は、いろいろイベントを実施しています。
（樋口委員）
盛りだくさんのイベントを楽しみにしています。他に御質問等はよろしかったでしょうか。
それでは、本日の協議事項は御承認いただけますでしょうか。資料に掲載した項目について、取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは以上で協議事項を終了します。

（５）その他
事務局より、令和８年に開催される第 57 回東海北陸社会教育研究大会三重県大会についての案内。